

# 大工技能者の確保・育成について

建設部建築住宅課

## 1 大工技能者アンケート調査の実施

### 1 アンケート調査の概要

#### (1) 調査の目的

大工技能者が減少する中、将来的に必要となる担い手の確保及び技能の承継について、大工技能者の考え方を把握し、今後の担い手育成に係る対策の検討を行うためアンケート調査を実施

#### (2) 調査対象者

長野県建設労働組合連合会に所属する大工技能者組合員 2,000名

#### (3) 実施時期

平成27年7月1日～8月31日（長野県建設労連にアンケート調査票の配布、回収を依頼）

#### (4) 回答数

1,234票の回答を得た。（回収率61.7%）

## 2 大工技能者アンケート結果から見える課題

- 大工技能者の不足に対する危機感  
⇒技能を承継する若手技能者の確保が必要
- 伝統的工法を使用した住宅の減少（現場で学ぶ機会の減少）  
⇒伝統的工法による住宅の新築やリフォームを拡大
- 後継者育成への意欲が減退  
⇒意欲を持って大工を目指す若者を増やすことが必要
- 大工技能者の待遇改善が担い手確保に不可欠  
⇒契約大工から正規雇用への転換など安定した雇用の拡大が必要

## 3 大工技能者の確保・育成に向けた対策（案）

### ① 木造住宅の担い手となる「県人材」の活用に向けた支援

若手・中堅大工技能者の正規雇用や伝統的工法による住宅への支援策を検討

### ② 将来の担い手となる学生（小中高生）に向けた啓発

公共木造建築物の見学会の開催や大工技能者の魅力をPRする方策を検討

### ③ 大工技能者育成の場である職業訓練機関の生徒の確保

大工育成に係る技術専門校の生徒確保に向けた取り組みを検討

### ④ 建設関係団体等が主催する技能研修会への支援

技能承継に向けた関係団体等の活動への支援策を検討

## 4 大工技能者の待遇改善に向けた中長期的な取り組み

- ・ 技能者の収入や休暇、社会保障制度は建設業全体の問題
- ・ 官民共同でできる取組を長期的な視野で検討